

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート(2次評価シート)

(1)政策	コード	名称
	15	(2)生涯を通じて生きがいを持てるまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	35	豊かな文化・芸術に触れることができる
	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む			

(4)評価実施年度	平成 19 年度
(5)評価責任者職名	企画振興部長
(6)評価責任者氏名	中嶋 孝
(7)評価者	伊賀支所長

(9)継続・新規 (19.20. 21.22)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)投入人員(人)	主な成果(新規事業の場合は目標)			1次評価結果							
					H18 決算額	H19 予算 額・補 正要求 額	H20 要求 見込額		(14)指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
										17年度	18年度			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		

(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて	(33)その他の改革 改善点について
---------------------------	---------	-----------	-----------------------------	-------------	-----------------------	-----------------	------------------------	-----------------------

19・新 規・当 初	0013	俳句のくにづくり拠点施設建設事業	040200	文化国際課	-	3,160	51,480	0.3	検討委員会の開催回数	H19で3	H20で6	回			4	4	-	4	A	-
継続	0109	芭蕉祭執行等経費	040200	文化国際課	16,582	15,582	15,582	0.6	芭蕉翁献詠俳句投句数	47,216	41,193	句			4	3	3	4	A	現状維持
20・新 規	6003	沖森文庫目録編さん事業	040200	文化国際課	-	-	6,790	0.2	本の発行						3	4		4	A	
19・新 規・当 初	0014	しぐれ忌執行等経費	040200	文化国際課	-	1,046	1,046	0.1	参加者数	120	120	人			4	3	-	4	A	-
継続	94-1	美術展覧会運営経費(市民美術展覧会)	040200	文化国際課	3,074	3,033	3,107	0.3	来場者数	2,223	2,194	人			4	3	3	3	A	現状維持
継続	94-2	美術展覧会推進経費(子ども文化フェスティバル)	040200	文化国際課	1,720	1,670	1,670	0.1	参加者数	2,300	1,100	人			4	3	3	3	A	現状維持
継続	0095	文化祭開催経費	040200	文化国際課	3,690	3,740	3,680	0.2	入場者数	5,148	5,475	人			3	3	3	3	C	現状維持
継続	0096	先賢顕彰費	550100	伊賀総務振興課	463	434	452	0.01	橋本策顕彰事業参加者数	33	35	人			4	3	4	3	A	現状維持
継続	93-2	文化振興一般経費(市民管弦楽団運営補助事業)	040200	文化国際課	2,720	1,720	1,920	0.1	演奏会入場者数	600	670	人			3	3	4	3	C	現状維持
21・新 規	7001	ミュージカル「奥の細道」開催経費	040200	文化国際課	-	-	-	0.1	入場者数			人			3	4		3	A	
継続	93-3	文化振興一般経費(一般事務経費)	040200	文化国際課	2,409	1,270	1,330	0.1	-	-	-	-			-	-	4	4	-	現状維持

無			無		1G	a		市民検討委員会を早期に設置し、建設場所・機能等の合意形成に努め、推進を図る。
有	有効性を3から4に修正	芭蕉顕彰における現在の取り組みについては評価したい。	無		1G	b	(財)芭蕉翁顕彰会と連携を図り、さらなる効率・有効的な顕彰事業の推進を図る。	
無			無		1G	b	印刷部数の再検討の必要有り。	
無			無		2G	f	将来的に顕彰事業を芭蕉祭に一本化する方向で検討を進める。	
無			無		2G	b	全市的な事業としての充実を図るため、市内全域からの出品に向けて、さらなる取り組みを進める。	
無			無		2G	b	さらなる事業の充実を図る。	
無			無		3G	c	会場を文化会館だけでなく他の文化ホールを使用することによりコスト削減を図る。	
有	必要性を4から3に修正。総合評価AをCに修正	事業の進め方等の改善が必要	有	事業全体としての取り組みについて改革が必要。現状維持を縮減と修正	3G	c	事業の進め方等を見直しコスト削減を図る。	
無			無		3G	c	寄付金の範囲内での行政支援	
無			無		4G	c	(財)伊賀市文化都市協会の自主事業として事業推進の方策を検討を要する。	
無			無		4G	c	事務的経費	